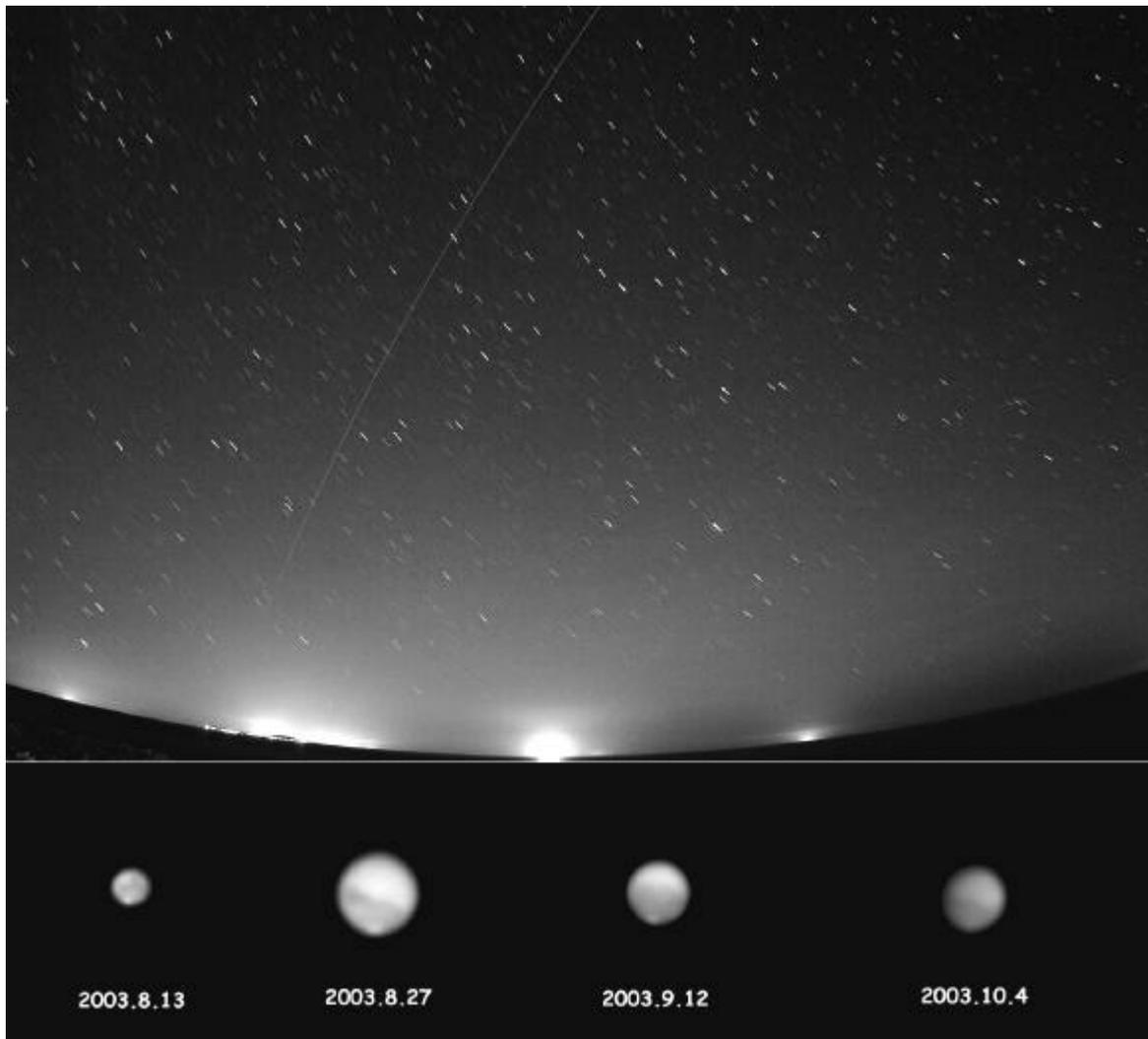


December 2003



**国際宇宙ステーション** : 今、地球の外では宇宙ステーションの建設が進められています。完成すると全長 70m、幅 110mの巨大な乗り物になりますが、これは地球人が地球上以外につくるとても大きな建造物になります。宇宙ステーションは、時々星空の中を移動する様子を肉眼でも見ることができますが、軌道が地上 500km と近いと、同じ日本国内でも場所によって見えるところと見えないところがあります。いつ見られるかはインターネットで予報を知ることができます。

写真データ：2003年9月23日（画面を縦に横切る線） 左寄りの光の列は天売・焼尻島で、それ以外は漁船の明かりです

下の写真は火星です。全国的（世界中で？）に注目され大勢の人が見たようですが、緯度の高い北海道は最良の条件とは言い難い状況でした。次は2年後に接近します。

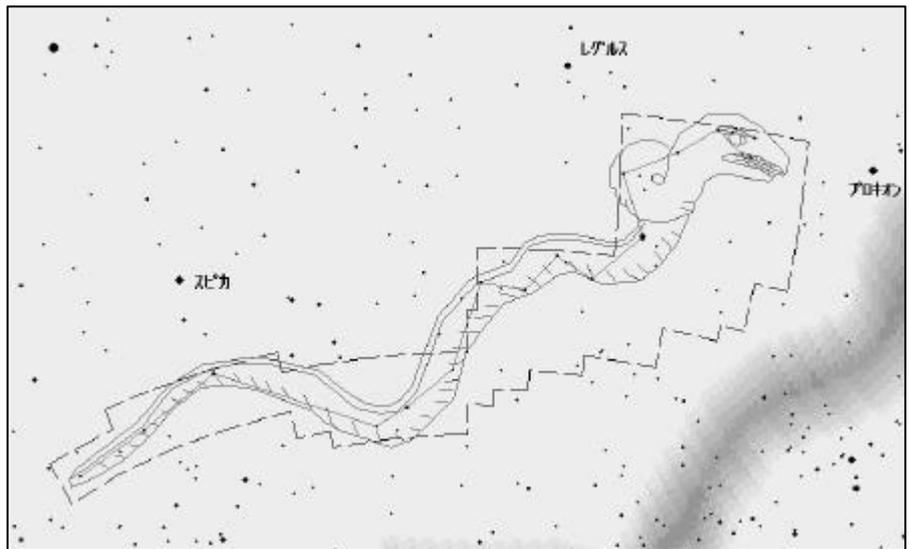
# 綺羅星・星座図鑑

## うみへび座 (Hydra)

うみへび座はプトレマイオスがつくった 48 星座の一つで、ヘルクレスの 12 の冒険に登場する怪蛇の一つです。

この蛇はレルネア地方にあるアミモーネの沼地に棲む巨大な蛇（ヒドラ）で、頭が九つもあり口から毒気をまき散らす恐ろしい蛇でした。もともとこの沼は農夫たちが日照りに備えて作ったものですが、いつの間にかヒドラが棲みついて人間や家畜を喰い殺すようになったため、だれ一人近づかなくなってしまったのです。

ある時ヘルクレスは甥のイオラオスとともにヒドラ退治にやってきました。ヘルクレスはヒドラの毒気に手こずりながらも首を切り落とすことができました。ところが首を一つ切り落とすとその切り口



から二つの首が生えて来るといのです。そこで考えあぐねた末、切り口を火で焼く方法を考えうまくいったのです。しかし、真ん中の首は不死身でいくら殴っても切っても死にません。そこでヘルクレスは大きな穴を掘ってその中に閉じこめてしまったのです。

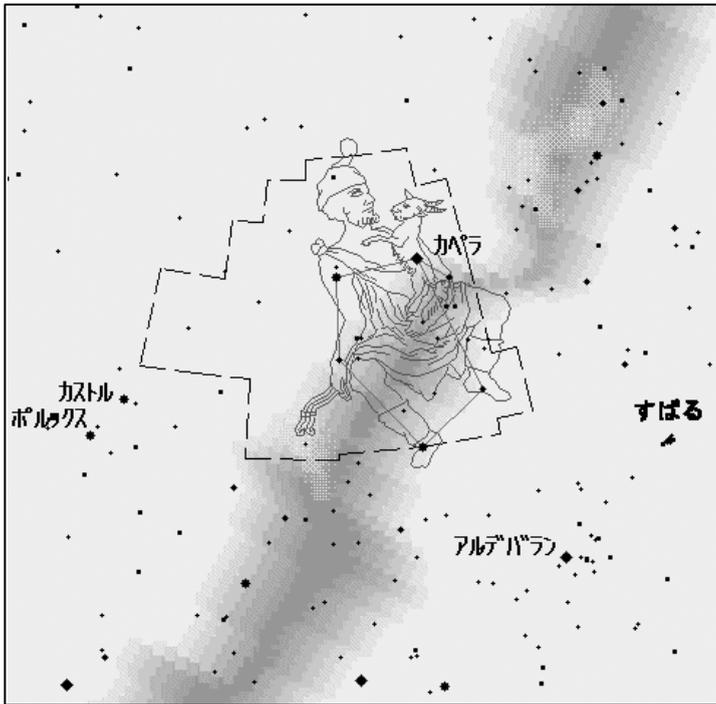
このヒドラは女神ヘーラが育てたものだとい、ヒドラとともに戦った蟹といっしょに天に上げて星座にしたということです。

うみへび座は全天一長い星座で、西の端から東の端まで 100 度もあり、西はこいぬ座の東から東はてんびん座の南まで続いている、全体が見えるまで 6 時間もかかってしまいます。頭の部分が楕円形を描きそこから東の方へ点々と続きますが、明るい星は少なく 2 等星が 1 個あるだけで、3~4 等星が中心です。うみへびの真ん中あたりに『木星状星雲』と呼ばれる星の残骸があります。

## ぎょしゃ座 (Auriga)

ぎょしゃ座はプトレマイオスがつくった 48 星座の一つです。

この馱者は鍛冶の神ヘーファイストスとアテーナの子エリクトニウスだと伝えられています。アテーナはエリクトニウスが生まれるとすぐ箱に入れ、アテネの王ケクロプスの 3 人の王女に預け『この箱は決して開けてはならない』ときつく言い渡しました。しかし 3 人は好奇心から箱を開けてしまいました。中には蛇にまかれた赤ちゃんが入っているではありませんか。3 人はその異様さに気がおかしくなり、次々と死んでしまったのです。その後エリクトニウスはアテーナの手で育てられ四代目の王となりました。彼は生まれつき足が不自由だったことから、四頭立ての馬車を発明し戦場で活躍しました。ゼウス



はその功績をたたえ星座として天上に上げたと言うことです。

ぎょしゃ座は五角形をしていてその中の0等星カペラが目立ちます。カペラは1等星の中ではもっとも北に位置するため、初山別では1年中沈むことのない星になります。一見一つの星として見えるカペラも、太陽の14倍と9倍の星が104日の周期で巡り会う連星なのです。カペラのすぐ南にあるイブシロン星は奇妙な星で、太陽の300倍もある巨星の周りを、これまた2300倍もある巨大な星がまわっています。ところがこんなに大きな星なのにいくらさがしても、巨大な星が見つからないのです。そしてついに突き止められた星の実体は、あまりにも大きいた

め中味がスカスカすぎて光でとらえることが出来ない状態だったのです。

## おひつじ座 (Aries)

おひつじ座はプトレマイオスがつくった48星座の一つで、誕生日の星座としてもおなじみです。

おひつじ座はおうし座のとなりにありあまり目立たない星座ですが、ギリシャ神話では金色の毛をもち空を飛ぶ牡羊ということです。

ネフェウスは夫であるテッサリア王アマタスに国を追われ、フリクソスとヘルレの二人の子を守ってくれるよう、ゼウスに頼むと、ゼウスはヘルメスに命じ金毛の牡羊をネフェレに送りました。牡羊は二人を乗せると矢のような速さで東へ飛び去ったのです。途中、ヨーロッパとアジアの境界にさしかかったところで、ヘルレは牡羊の背から落ちて死んでしまったのです。フリクソスは黒海沿岸のコルキスへたどり着くと、コルキス王アイアテスに牡羊を献上しました。王は喜んで毛皮を森の高い木にかけ火竜に守らせたのです。



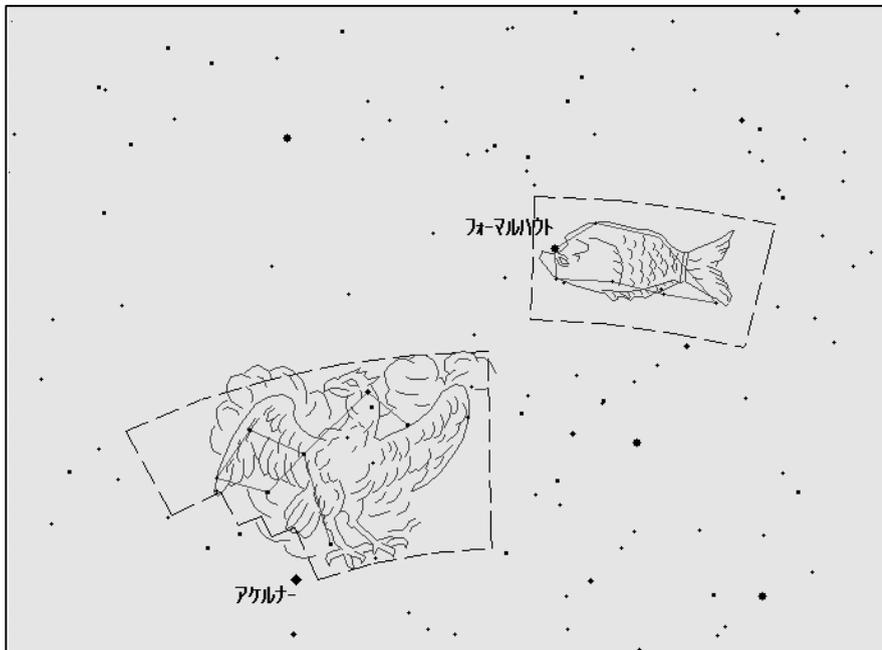
そのころギリシャの勇士ヤーソンは、この毛皮を奪い取るためアルゴ号編成隊を結成していました。ヤーソンはコルキスの王女メディアの力を借りて、呪いの水で火竜を眠らせ、首尾良く毛皮を手に入れたのです。

おひつじ座には2等星と3等星が1個ずつありますが、他には目立つ星もなく、おうし座やアンドロメダ座といった目立つ星座に挟まれ、ちょっと寂しい思いをしています。おひつじ座は2000年ほ

ど前まで春分点があったため『白羊宮の原点』と呼ばれていました。今の春分点はとなりのうお座にあります。

## みなみのうお座 (Piscis Australis)

プトレマイオスがギリシャ神話を元に作った 48 星座の一つです。



ある日、神々がナイル川のほとりで宴会を催していました。宴もたけなわのころ突然現れた怪物ティフォンに驚いた神々は、姿を変え散り散りに逃げました。牧羊神パーンは魚（変身に失敗し下半身だけ魚になった = やぎ座）に、愛と美の女神アフロディテとその子エロスも魚（魚座）になって逃げたのですが、この魚は一体だれが変身したものが不明とすることです。一説にはアフロディテの姿とも言

われていますが、そうするとアフロディテは 2 匹の魚に化けたことになりすね。

みなみのうお座には秋の星座の中でたったひとつの 1 等星があります。フォーマルハウトといい、1.2 等星とやや暗めの 1 等星ですが、寂しい秋の星座の中にあっては貴重な星です。この星までの距離は 22 光年で、1 等星の中ではリギル・ケンタウルス、シリウス、プロキオン、アルタイルに次いで近い星です。

## ほうおう座 (Phoenix)

ほうおう座は 1603 年にバイエルがつくった星座で、みなみのうお座の南東に位置し、緯度の高い北海道からは北の部分が見えただけです。

名前の Phoenix から古代エジプトの不死鳥（フェニックス）と推測できます。この鳥は、500 年の寿命が来ると自ら火の中に飛び込み、その灰の中から再びよみがえることから、不死の象徴とあがめられていました。一方、中国では『ほうおう（鳳凰）』という想像上の鳥で、身の丈 6 尺（1.8m）、体の前半分は麒麟（伝説の動物のきりん = キリンビールのきりん）、後半分は鹿、首は蛇であごは燕、背中は亀、しっぽは魚で頭には鶏冠があるという、奇々怪々な鳥です。星座になった鳳凰は不死鳥と重ね合わせられたものなのではないでしょうか。

ほうおう座の星は 2.4 等星が 1 個、3.4 等星が 2 個ありますが、南に低いためあまりよく見えず、北海道では地平線ギリギリで、ほとんど見る事が出来ません。ほうおう座の南東にエリダヌス座の 1 等星アケルナーがあり、九州中部以南では見る事が出来ますので目印となるでしょう。

「My Stars 通信」の天文図は StellaNavigator5(ASCII/AstroArts)を使用しています。

# 綺 羅 星 列 伝

皆様からお寄せいただいた星物語の一部をご紹介します。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

---

## 星の名前 : **Galanthus**

---

この星は、今私が一番（いや、これから）大切な人から33歳の誕生日に頂きました。

二人の関係は、世間的には許されるものではありませんでしたが、私は彼女の幸せを思い.. 彼女は私の幸せを思い.. 御互いにとってとても必要な存在でした。

そして彼女から「貴方の星に名前を付けてね」と頼まれ、私はそんな関係の二人が、誰にも邪魔されずそっと暮らせる世界がある事を願って、【希望】と言う花言葉を持つ[スノードロップ(松雪草)]の学名を頂き“Galanthus”と名付けました。

その貴人(ヒト)は、暗黒の暗闇に閉ざされた私の心に一条の光を注いでくれました。

最初は見えるかどうか解らないぐらいのかすか

な光でしたが、それは何も見えない暗闇に暮す私には、そこはかとなく暖かく、それが何時しか、真実に触れ(彼女の想いを知り)全てを照らす程の光となっていました。

しかしこのような関係では、後どのくらい微笑あっていけるのかも解りません、それでも私は、何十年後も今の気持ちのまま愛を吠え続ける自分でありたい、そして彼女には何の罪もなく、これからの未来がある人です、ですから蔭から誰にも気付かれぬように、そっと見守ってるだけでいい...

ただ最後に、彼女と出逢えて本当に良かった.....

---

## 星の名前 : **Dear fuga 2000 7 7**

---

愛する楓河へ

今回ママはこの星『Dear fuga』を愛する楓河に贈ります。

楓河が誕生したのは2000年7月7日。七夕生まれということもあって、以来ママはずーっと服や帽子、下着にパジャマ、靴下、靴、かばんに小物などなど“星”がつくものみんな集めてるんだ。まさか本物の星が手に入るなんてね。

楓河はママが妊娠中毒症にかかった為に予定より41日も早く緊急の帝王切開で産まれました。

1960gの未熟児でした。

ママがはじめて楓河に逢えたのは手術から3日後のこと。

楓河は保育器に入ってて管とか点滴とかいっぱいされてて、それよりなによりすっごいすっごいちっちゃくて本当にちっちゃくて、おむつなんか胸まであって、触ると壊れちゃいそうなくらいちっちゃくて.....

ママはそんな楓河を見た時涙が止まりませんでした。正直ショックだったよ。

それと同時にママのせいでこんな小さな体に、こんな痛い思いをさせてしまったと、強く自分を責めたこと今でも覚えています。

でも楓河はこんな小さな体でも一生懸命生きるのを見ててよくわかったよ。

ママは毎日毎日お乳をしばっては NICU に届けたけど楓河が飲めるようになったのは生後 8 日目。4ml ってほんのちょこっとを小さな注射器から鼻の管を通して初めて飲みました。それから少しづつ少しづつお乳の量も体重も増えて、鼻の管から口で飲めるようになって、生後 29 日目には保育器を出ることができました。初めて抱っこできた時のうれしさは一生忘れられないと思う。

ママの体をぎゅーっと丸めて抱っこしないと抱っこできないくらい小さかったもんね。

パパも楓河が産まれてから退院するまで毎日 1 日もかかさず仕事を抜け出しては楓河に逢いに来てくれたんだけど、病院にいる間ずーっとずーっと、本当にずーっと楓河を抱っこしてて、ママはあんまり抱かせてくれなかったな。

それから予定日だった 8 月 17 日に退院。

だけどそのすぐ 1 週間後にまた検査入院。

耳の検査で小さい音が聞き取れないって診断された。

将来、難聴とか補聴器をつける可能性もあるなんてママ一人で先生から聞かされたから、ママはパニックになったんだ。

どうして今までこんなにいっぱい痛い思いをしたのに、もうこれ以上この子を苦しめないでって。幸いその後の再検査で異常なかったけど、赤血球

が足りなくて週に 1 回注射に通ったり、体重が急に増えるといけないからってお乳も満足に飲ませてあげられなかったりと、いっぱいいっぱいかわいそうな思いをさせてしまっただけで本当にごめんなさい。

でもね、それ以上にうれしいこともいっぱいいっぱいあったよ。

寝返りしたり、歯が生えたり、おすわり、ハイハイ立ちにあんよなど初めての出来事にはもちろんうれしかったけど、笑う声が高くなったり顔に表情が出るようになって、泣き方が変わったりと、どんな小さな事でも感動したんだ。

ママはその事を楓河が産まれてから今日まで毎日日記につけてるんだよ。もう 6 冊目になるよ。これはママの宝物です。

これからもずっと書き続けたい。

どんな事書くのかとても楽しみです。

今、楓河は 2 才 7 ヶ月になったけど、周りの人から本当に未熟児だったの？って言われるくらい身長も体重も標準だし、おしゃべりもいっぱいできるし、今まで無事に育ててくれて、ママは楓河がいてくれるだけでとっても幸せです。

ホントにママは楓河が大？ 大？ だーいすき？？？

ママの子供に産まれてくれてありがとう。

幸せをいっぱいくれてありがとう。

ママはいつまでも楓河を愛しています。

2003 年 2 月 9 日 ママより

星の名前 : **TOMOYA・8・29・MK**

S48.8.29 私達にとって二人目の男の子の誕生でした。(牛どし)

この夏は大変暑く、私は早く貴方に会いたいです。可愛らしくふっくらとした顔、

喜びの日でした。少年から大人に成長していく貴方と過ごせたのは・・・

あの日から、貴方の大好きなお父さんお兄さんが友也(トモヤ)と言い続けています。私も。ど

んな思いで皆が病院に向かったか、その日から苦しい日々が続いています。

親思いで二人兄弟でお兄さんお兄さんといつも一緒に、私、今自分の命と交換に友くんに会えるならすぐにでもそうしたい。

貴方は自分が交通事故にあって死んだ事、本当にわかっているのかと思うくらいやさしいきれいな顔だった。

2002.4.17(水)

たった 28 歳 結婚して幸せだった貴方がゆきちゃんに“これから帰るよ”って言って帰れなかった。この年ワールドカップに、札幌に兄弟で行く約束していて。

貴方は四年前のワールドカップお兄さんと二人アメリカ迄行って楽しかったんでしょ。ケンカもしたのよね。チケットには友也の名前がきつとあったのに・・・

-----

私がこのシステムを知ったの、どうやって生きていたかわからなかったある日、テレビを何気なく見ていた時でした。

2002.7.7 私達は一年に一度でもいい必ず会えると信じて七夕のこの日に納骨しましたあちらの世界に逝ってしまった息子の名前が、消える事が哀しく、又、夜空を見る事と夕焼けを見る事が好きになった私が大変嬉しくなったシステムでした。

小椋友也 28 才 最愛の息子でした  
友也が可愛がっていたジャンガリヤンのミックが後を追うように九月に亡くなってしまいました。

TOMOYA 8・29・MK

しょさんべつ天文台からCDが届いた夜、夫がCDを聞きたいとの事で、床に入りながら聞きました。隣の部屋の方より夫のすすり泣き、私も号泣。それでも静かな曲に心が安まり何時の間にか寝ていました。

そしてこんな事が、夜空に等身大の息子がミックと遊んでいる、ニコニコ笑って・・・  
哀しく・・・哀しくそれでもあえて嬉しいときでした

---

## 星の名前 : **Tomoko&Saori&Aya**

---

26 才と 21 才の娘 2 人へ

誕生日に思いがけず、星のプレゼントをありがとう。家族 3 人の名前のついた星が、空にいつも輝いているのですね。

思い起こせば 13 年前、2 人を連れて離婚という道に進んだ時、実家の戸籍に戻らずに 3 人きりの戸籍を作りました。亡くなってはいるものの、温かい両親の名前の元に戻らずに戸籍を新しくすることは、とても勇気のいることでした。たった 3 人きりの、そして、頼りない私が筆頭者になるということで寂しく、心細く、本当に離婚を実感したのを憶えています。

その時から、娘 2 人、やがて嫁いで私 1 人になっ

て、そうして私も死んで、この戸籍も消滅するのだなと思っていました。でも、星をプレゼントされて、このほしに、ずっと 3 人の今のままの、思いがあり続けると思ったことは、自分の人生にとってとても意味のあるものになりました。

これから、どんな姿で、どんな 3 人が人生を生きるか、はっきりとはわかりませんが、今流れている親子の血のあたたかさは、空を見ればいつもあるということですね。

本当にありがとう。

いつも幸せな気持ちで空をながめられる人生を、3 人ともがこれから歩んでゆけるようにと願っています。

H15 年 5 月記

# こちら情報室

## 哀しいお知らせ

しょさんべつ天文台はこれまで通年営業でやってきましたが、諸般の事情により1月と2月は休館することになりました。冬にしか見られない星をお持ちの方には申し訳なく思います。3月からは開館しますので遊びに来て下さい。

## 天文情報

**流星 彗星**：しし座流星群は11月18～19日に極大になりますが、17日が下弦の月で多少月明かりが気になります。今年はそれほど多くないと予想されています。12月14日のふたご座流星群は9日が満月で条件はやや悪。1月4日の未明にはりゅう座流星群が極大になります。こちらは8日が満月で状況はやや不利。その後はしばらくありません。来年の5月ころニート彗星とリニア彗星が同時に肉眼で見える可能性があるということです。ニュースに注目しましょう

**惑星**：この冬から惑星シーズンです。

**金星**は夕方の低空に見えていますが、次第に高くなり3月31日に最大離隔となり望遠鏡で半月型に見えます。6月8日には太陽の前を金星が横切る「金星の太陽面通過」が、14時過ぎから全国で見られます。この現象が見られるのは1882年12月6日以来132年ぶりになります。

**火星**は大接近からしばらく時間が経ち小さくなってきています。肉眼ではまだオレンジ色で明るく見えていますが、気流の悪い冬の時期は望遠鏡でも模様は見づらいでしょう。

**木星**は3月5日に地球に最接近し、7月末まで見ることができます。

**土星**は1月1日に地球に最接近し、5月末まで見ることができます。

### [連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

登録番号6552番までの方は18号をもって「MyStars通信」の郵送を終了します。なおすでに継続の連絡を頂いている方には引き続き郵送いたします。今後も郵送を希望される方は連絡下さい。なお、通信は初山別村のホームページでも見ることができます。

### [編集後記]

2003年10月末現在の登録者数は6795名です。

この夏は全体として天候が今ひとつといったところで、雨の多い7月下旬に好天だったかと思うと、晴天の多い8月後半から9月にかけて曇りがちでした。7月26日には、1989年7月の開館以来14年で入館者20万人達成です。

今年一番の話題になったことと言えば8月27日の火星の大接近ですね。マスコミや一部の天文台が6年ぶりの大接近と大々的に取り上げたため、大勢の人たちに注目され、全国各地で火星の観望会が行われにぎわっていたようです。施設によっては1000人以上の人が押し掛け、大混乱だったようです。来年は火星食、肉眼で見えそうな彗星、皆既月食、金星の太陽面通過、部分日食など注目の天文現象があります。

編集・発行 初山別村教育委員会社会教育係 〒078-4421 北海道苫前郡初山別村字初山別 155-1

初山別村ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp